

1 社会・治安情勢

(1) 国家の統治及び社会秩序を著しく不安定にするような戦闘，暴動，凶悪犯罪等の発生はなく，昨年5月にハノイ市内を含むベトナム全土において大規模な反中国抗議行動が取り組まれたものの，その後同様の抗議行動の発生は確認されていない。

しかし，中国の南シナ海での各種活動が日々報道されており，今後の情勢如何では，再び中国に対して同様の抗議活動が行われる可能性も否定出来ず，引き続き南シナ海情勢を注視する必要がある。

(2) 当地の対日感情を損なう情報には特段接していない。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) ハノイ市統計局ホームページに掲載されている記事から今年上半期のハノイ市における犯罪発生状況及び検挙状況等を抜粋したもの。(平成27年1月～6月実績)

【刑法犯関係】

ア 刑法犯発生件数：2,958件（前年同期比+9.2%）

イ 刑法犯検挙件数：2,355件（前年同期比+9.8%）

ウ 刑法犯検挙人員：4,525人（前年同期比+11.8%）

【薬物犯罪等】

ア 薬物犯罪検挙件数：1,215件（前年同期比-9.7%）

イ 薬物犯罪検挙人員：1,530人（前年同期比-9.7%）

ウ 売春犯罪摘発件数：109件（前年同期比-20.4%）

エ 売春犯罪検挙人員：126人（前年同期比-60.1%）

【交通事故関係】

ア 事故発生件数：871件

イ 事故死亡者数：310人

ウ 事故負傷者数：715人

(2) 邦人被害事案

ア 4月中旬の昼間、ハノイを訪れていた邦人観光客が、ホアンキエム湖周辺で休憩していたところ背負っていたバッグから財布やカメラ等が盗まれる窃盗被害が発生している。

イ 5月中旬の昼間、ハノイ在留邦人宅にベトナム人と見られる男性1名が侵入し、家人をナイフ等で脅して、現金を強取する屋内の強盗被害が発生している。幸いにも被害者は軽傷であったが、犯行用具を事前に準備していた形跡があるなど、計画的な犯行と思料されている。

ウ 6月中旬の夜間、ハノイを訪れていた邦人観光客が、ホアンキエム湖周辺を散策中、背負っていたバッグのファスナーを開けられ、中からスマートフォンや財布を盗まれるスリの被害が発生している。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 特記する被害事案はないが、旧市街地及びホアンキエム湖周辺の繁華街で、外国人観光客が日常的にスリや置き引きなどの窃盗被害に遭っているとの情報に接している。

イ 国家交通安全委員会の統計によると、4月28日から5月3日にかけての連休中に、全国で発生した事故件数は、263件（死者数162人、負傷者182人、行方不明者3人）であった。このうち、交通事故が249件（死亡者150人、負傷者182人）、海難事故が11件（死亡者10人、行方不明者3人）、鉄道事故が3件（死亡者2名、負傷者1名）となっている。

3 テロ・爆弾事件等発生状況

テロ・爆弾事件の発生については認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人の誘拐・脅迫事件の発生は認知していない。

5 日本企業の安全に係わる諸問題

日本企業に対する事件やストライキの発生件数（当館把握数）は0件であった。